



Professional Beauty Supply

**2017年度（2018年4月期）
第2四半期 決算補足説明資料**

2017年12月11日

株式会社ビューティガレージ

（東証一部：3180）

企業理念 「美容業界を変える」

社名	株式会社ビューティガレージ (BEAUTY GARAGE Inc.)
本社	東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号
設立	2003年4月24日
代表取締役CEO	野村 秀輝 (ノムラ ヒデキ)
従業員数	213名 (連結) (2017年10月末)
拠点	<p><ショールーム店舗> 札幌/仙台/金沢/東京/名古屋/大阪/広島/福岡</p> <p><その他拠点> 千葉物流センター/中国広州駐在員事務所</p>
グループ会社	<p>株式会社タフデザインプロダクト (店舗設計・施工事業)</p> <p>株式会社アイラッシュガレージ (アイラッシュ商材の卸販売/開業・経営支援事業)</p> <p>株式会社BGパートナーズ (美容サロンの店舗リース・転貸・設備リース事業)</p>

※2017年11月1日に株式会社足立製作所 (金属整器具・用品の製造販売事業) をグループ会社化しています

理美容、エステ、ネイル、アイラッシュ等のビューティサロン向けに、ITとリアルを連携融合させ、美容商材の物販事業と開業・経営ソリューション事業を行う会社です。

<業績>

売上高

5,377百万円

前年同期比 116.1%

経常利益

233百万円
(経常利益率 4.3%)

前年同期比 92.8%

<KPI> ※物販事業

登録会員口座数

328,266口座

前年同期比 110.7%
(前年同期 296,504口座)

アクティブユーザー数

過去1年間に1回以上購入履歴のあるユーザー

94,901口座

前年同期比 109.2%
(前年同期 86,932口座)

ロイヤルユーザー数

過去1年間に6回以上購入履歴のあるユーザー

21,959口座

前年同期比 125.1%
(前年同期 17,550口座)

EC売上構成比率

70.8%

前年同期 65.7%

PB売上構成比率

56.8%

前年同期 58.2%

化粧品・材料売上構成比率

40.6%

前年同期 35.0%

2017年度 上半期の主なトピックス

●美容業界イベントへの出展 (2017/5)

- ◆ 「Beauty World Japan 2017」へ 理美容、エステ、ネイル、アイラッシュの計4ブースにて出展

●大阪総合ショールームを開設 (2017/5)

- ◆ 旧大阪ショールーム（大阪市阿倍野区）と旧神戸ショールーム（神戸市西区）を統合・移転
- ◆ 大阪エリアの中心地・心斎橋に延床面積1900㎡超の大型総合ショールーム&ストアを開設

●通販カタログ誌「BG STYLE」の発刊 (2017/10)

- ◆ 「理美容版」、「エステ/リラク版」、「ネイル版」の3分冊にて発刊

●ジャックスと共同で、開業資金積立制度を構築 (2017/10)

- ◆ 「BEAUTY GARAGE スマート積立」の募集スタート

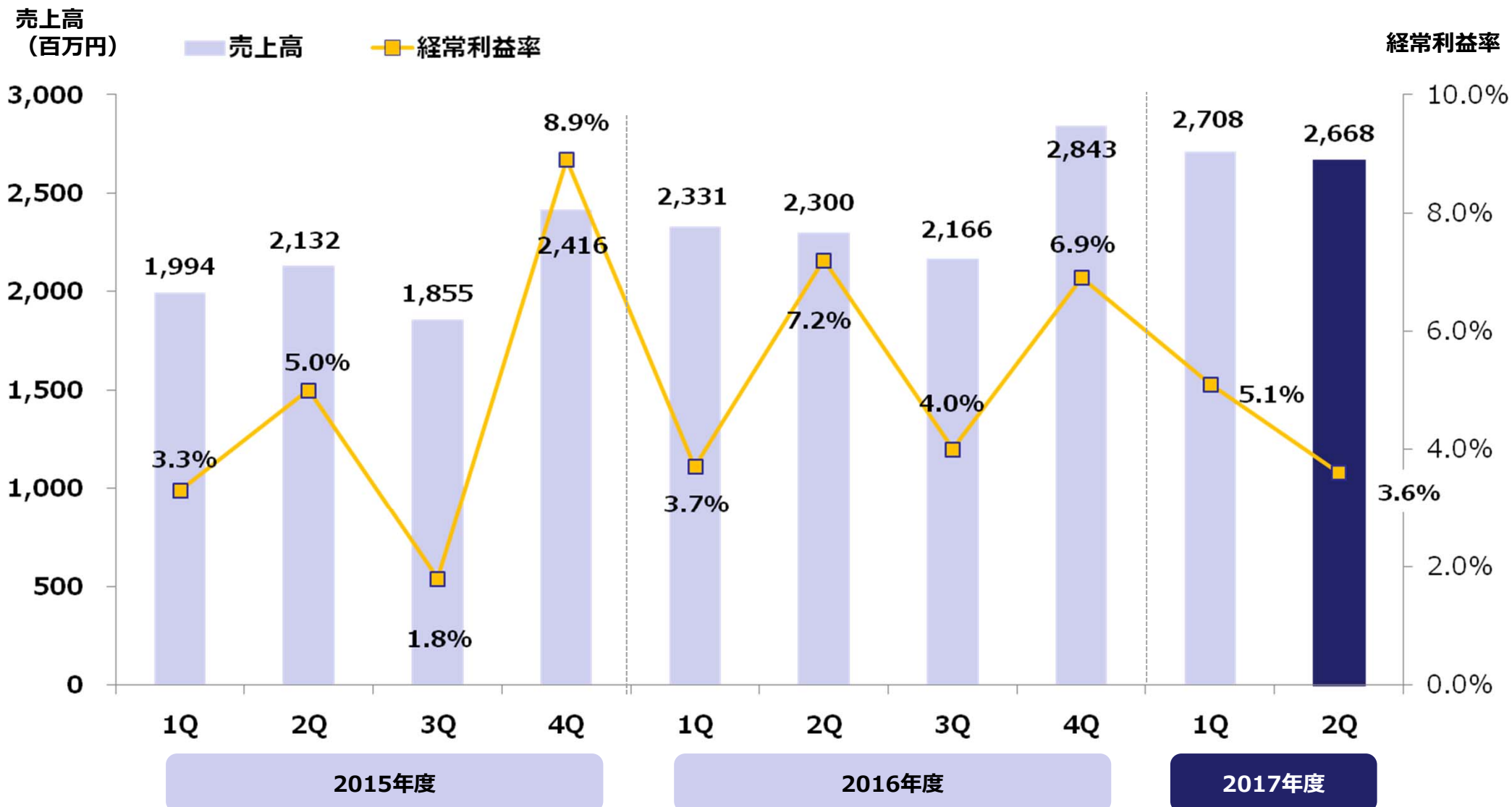


- ◆ 売上高は概ね予算通りだったが、為替の影響等で売上総利益率が低下した
- ◆ 四半期純利益は、連結子会社を吸収合併したことで税負担が減少したことなどにより増加

連結	2016年度 2Q		2017年度 2Q		前年同期比 (%)	予算比 (%)
	実績値 (百万円)	売上比 (%)	実績値 (百万円)	売上比 (%)		
売上高	4,632	100.0	5,377	100.0	116.1	100.9
売上総利益	1,548	33.4	1,741	32.4	112.4	96.2
販売費及び一般管理費	1,270	27.4	1,512	28.1	119.0	94.7
営業利益	278	6.0	228	4.3	82.3	107.9
経常利益	251	5.4	233	4.3	92.8	110.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	160	3.5	198	3.7	124.3	148.9

売上高・経常利益率の推移 (連結)

- ◆ 2017年度1Qおよび2Qの四半期売上高は、堅調に推移
- ◆ 通販カタログを当年度は2Qに発刊したこと等により、2Qの経常利益率は前年同期比で低下

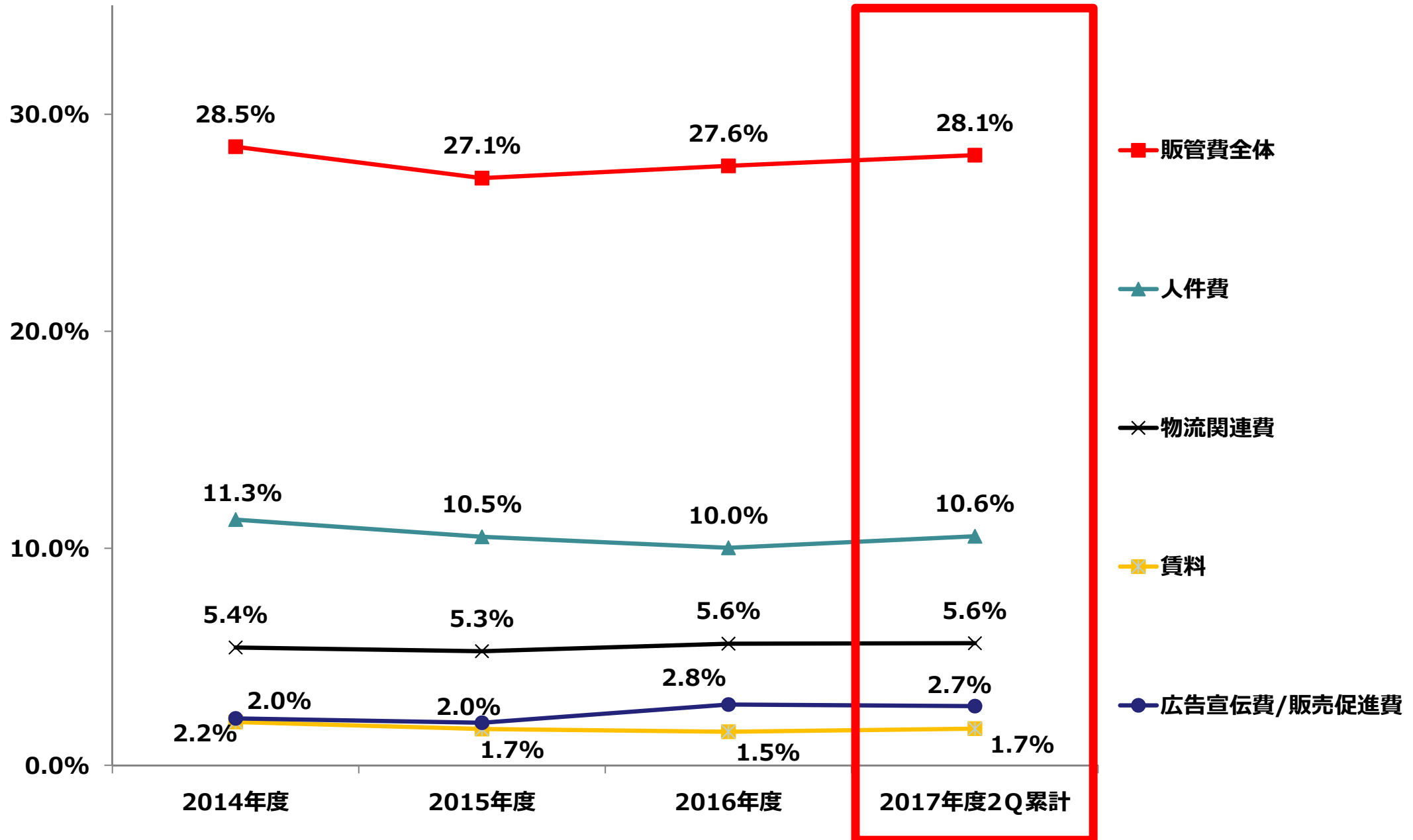


販売費および一般管理費について (連結・累計)

	2016年度2Q	2017年度2Q		主な要因
	実績値 (百万円)	実績値 (百万円)	前年同期比 (%)	
人件費 (役員報酬/給料手当/法定福利費/通勤費/人材派遣料 等)	496	567	114.3	✓ 物流センターにおける人材派遣料増加
物流関連費 (荷造運賃/倉庫保管料/物流センター賃借料)	239	302	126.4	✓ 自社物流センター拡大による賃料増加 ✓ 配送コストの値上げ影響あり
賃借料 (オフィス・ショールーム)	72	90	125.0	✓ 大阪総合ショールーム開設による賃料増加
広告宣伝費/ 販売促進費	140	146	104.3	
支払手数料	82	95	115.9	✓ カード決済手数料の増加
ポイント引当金/ ポイント利用額	44	48	109.1	
その他	194	260	134.0	✓ 物流関連および大阪新ショールーム用の事務・消耗品を多く発注 ✓ IT設備費増加
販管費合計	1,270	1,512	119.1	

販売費及び一般管理費の売上比率推移（連結）

◆ 圧縮傾向にあった販売管理費が、やや増加に転じてきている



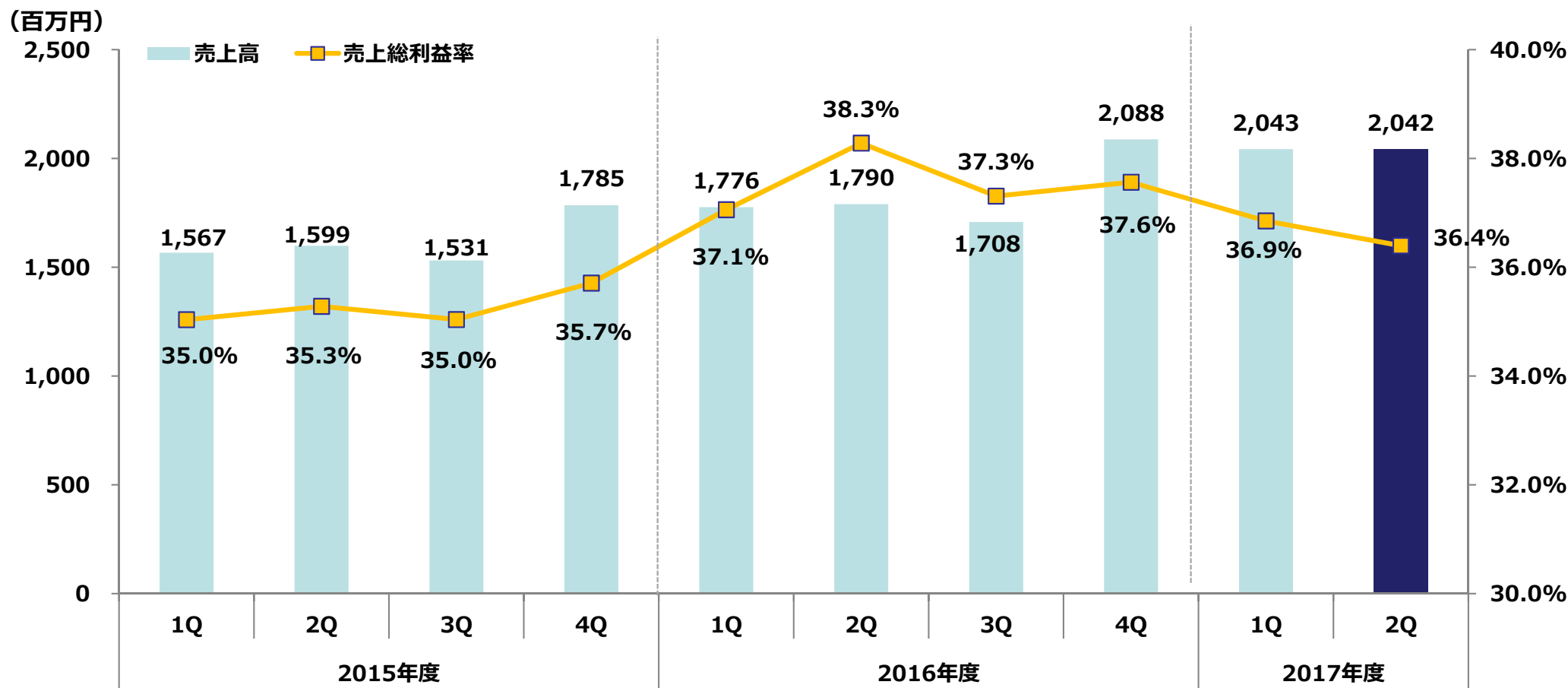
貸借対照表サマリー (連結)

	2016年度末		2017年度2Q末			主な増減要因 (百万円)
	実績値 (百万円)	構成比 (%)	実績値 (百万円)	構成比 (%)	前年度 末比 (%)	
資産	4,144	100.0	4,482	100.0	108.2	
流動資産	3,486	84.1	3,719	83.0	106.7	✓商品の増加 +123 ✓前渡金の増加 +85
固定資産	658	15.9	763	17.0	116.1	✓無形固定資産の増加 +46
負債	2,090	50.4	2,270	50.7	108.6	
流動負債	1,838	44.4	1,895	42.3	103.1	✓1年内返済予定長期借入金 の増加 +72
固定負債	251	6.1	375	8.4	149.3	✓長期借入金の増加 +131
純資産	2,054	49.6	2,212	49.3	107.7	
自己資本比率	48.9%		48.7%			
流動比率	189.6%		196.2%			

売上高 : **4,086百万円** (前年同期比 114.6%)

セグメント利益 : **309百万円** (前年同期比 95.5%)

- ◆ 1Q及び2Qの四半期売上高は堅調に推移
- ◆ 売上総利益率は2016年度に回復した後、今期1Q、2Qは低下傾向 (商品構成比の変化や為替動向も影響)

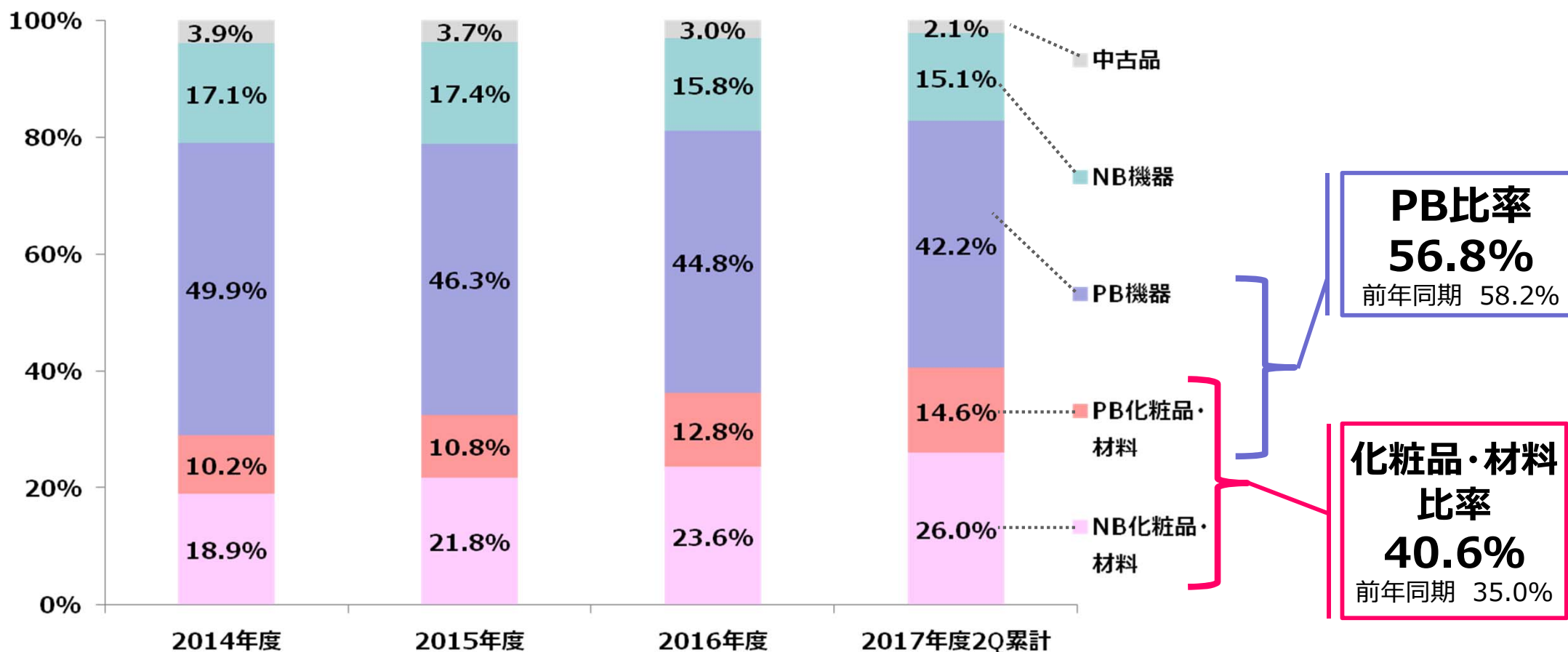


◆ 「フロー＆ストック型収益構造への転換」を目指したラインナップ拡充効果が現れ、化粧品・材料売上比率が40%を超えた

PB製品売上高 2,321百万円 (前年同期比 111.9%)

化粧品・材料売上高 1,659百万円 (前年同期比 133.0%)

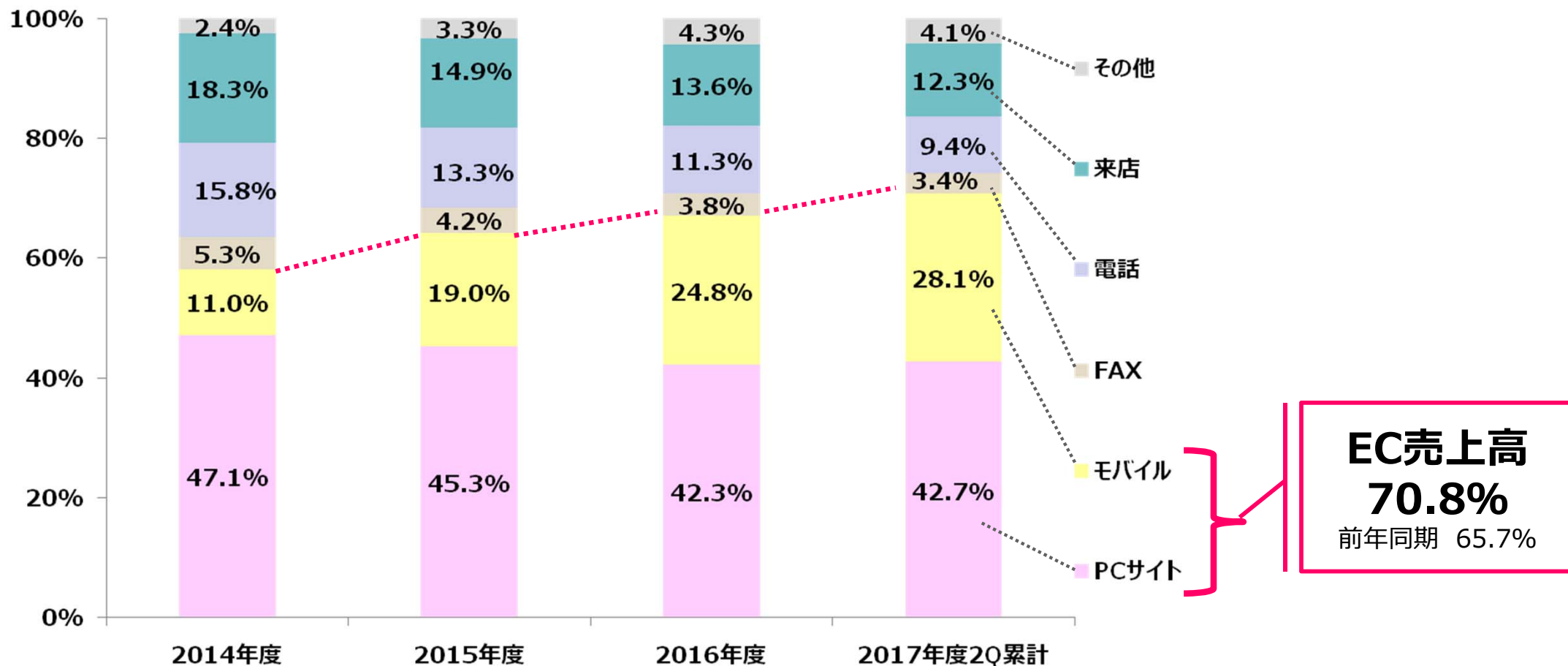
商品タイプ別売上構成比 推移



- ◆ EC全体の売上高は堅調に推移しており、EC売上構成比が70%超へ
- ◆ モバイル（スマホ用サイト、スマホアプリ）経由の売上構成比率が大幅に上昇

EC売上高 2,893百万円 (前年同期比 123.5%)

販路別売上構成比 推移

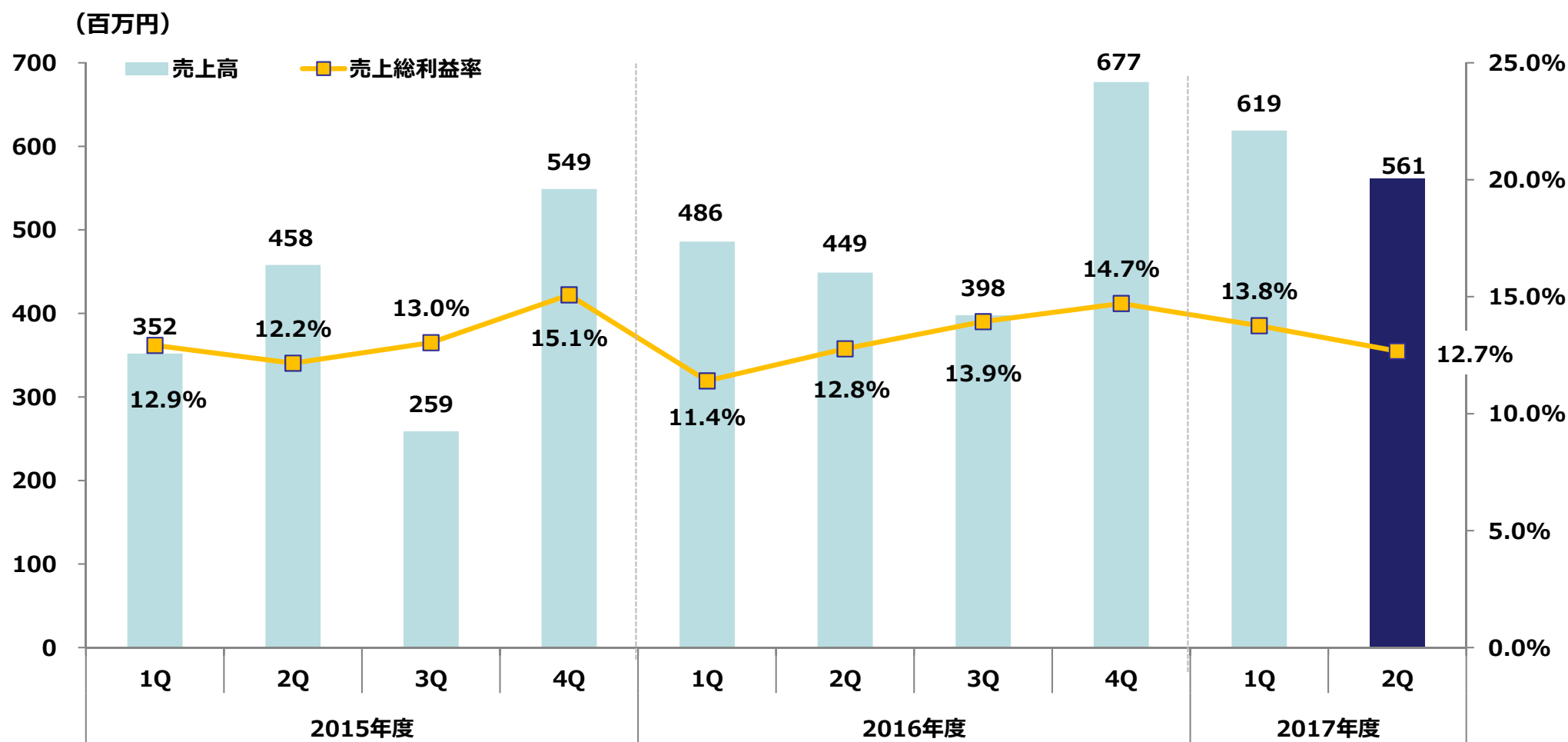


EC売上高
70.8%
前年同期 65.7%

売上高 : **1,181百万円** (前年同期比 126.3%)

セグメント利益 : **64百万円** (前年同期比 158.7%)

◆ 1Q、2Qにおいては、売上高、売上総利益率ともに前年同期比で堅調に推移（大型案件受注増等）

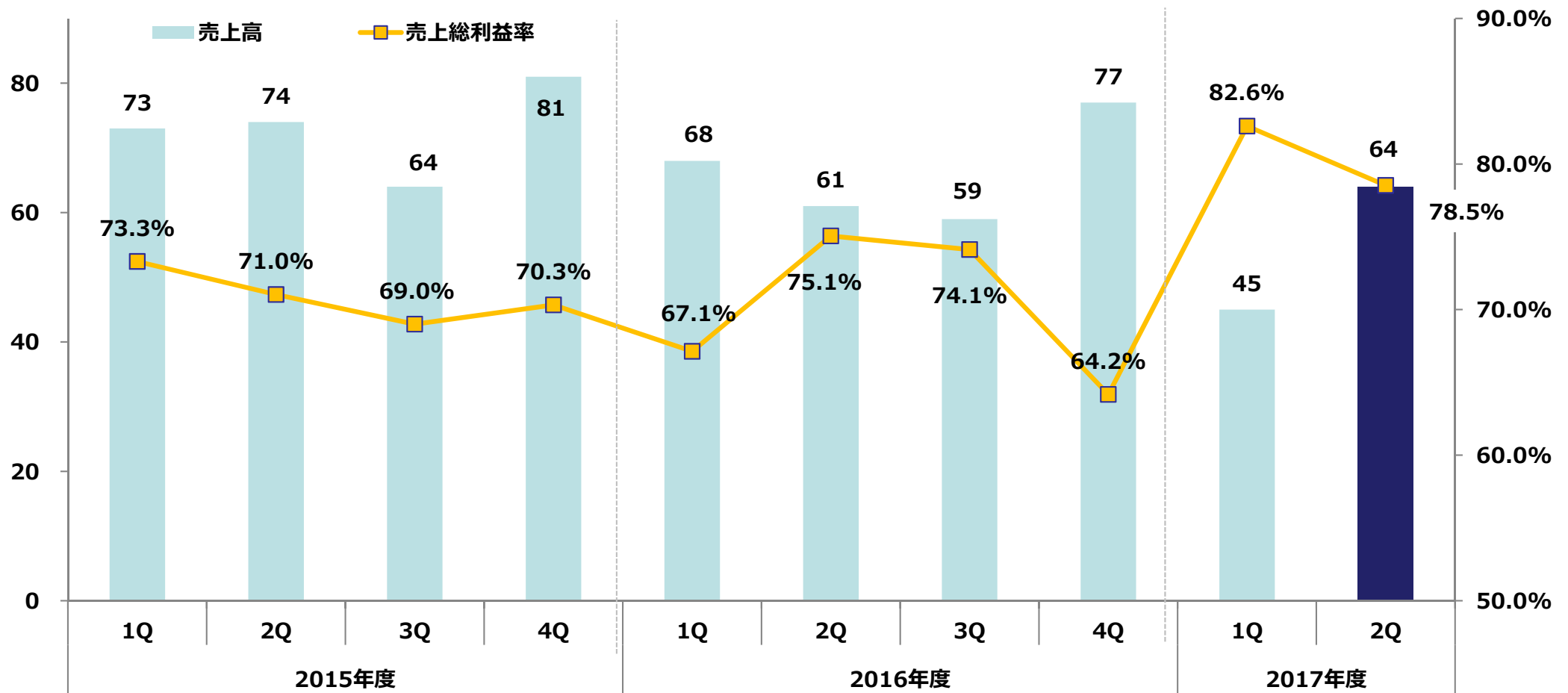


売上高 : **109百万円** (前年同期比 84.4%)

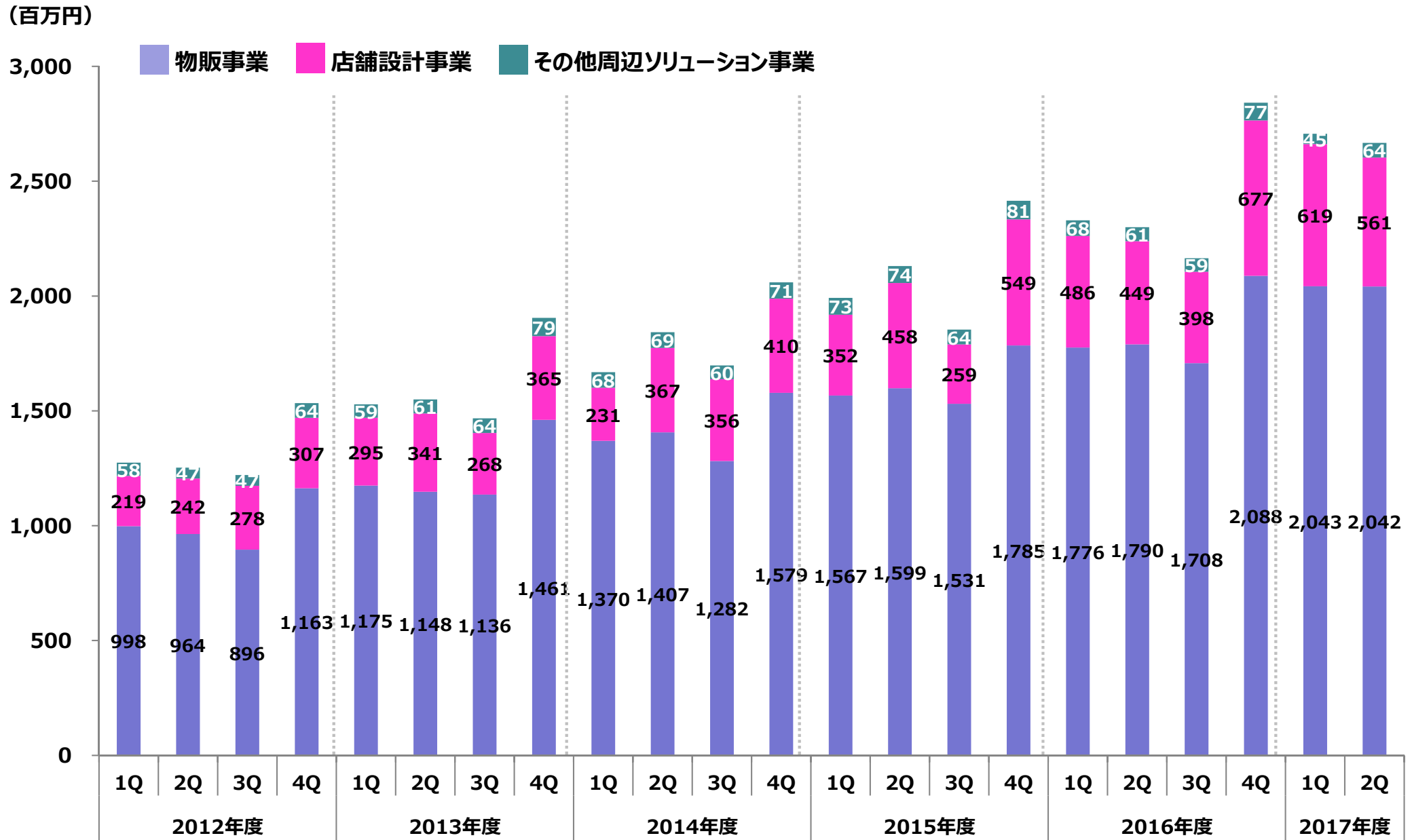
セグメント利益 : **▲6百万円** (前年同期は 13百万円)

- ◆ 店舗リース、保険サービスは堅調だったものの、集客支援サービス、採用支援サービスなどが大きく前年割れ
- ◆ 売上高減少に伴いセグメント利益は赤字へ

(百万円)



【参考】セグメント別売上高の推移



●株式会社足立製作所をグループ会社化（2017/11実施）

当社子会社のタフデザインプロダクトが、足立製作所を子会社化（当社の孫会社化）しました。

足立製作所は、高度な金属加工技術と柔軟な発想を基にした「ものづくり」と多品種少量生産を得意とする、金属製器具・用品の製造から販売までを手掛けている企業です。

同社をグループ会社化することは、タフデザインプロダクトのデザイン力と組み合わせることによる「商品開発力の強化とラインナップ拡充」はもとより、自社グループ内に日本製製品の製造体制を内包することが、「アジアNo.1のIT美容商社」となるべく海外展開を図ろうとしている当社にとって大きな武器となり、企業価値の向上に資するものと考えております。

会社名	株式会社足立製作所
本店所在地	新潟県新潟市西蒲区伏部613番地
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野村 貴久（注1）
事業内容	金属製器具・用品の製造販売
資本金	資本金 1,000万円
持株比率	株式会社タフデザインプロダクト（注2） 100%
設立年月日	1972年7月26日

注1. 当社の取締役（株式会社タフデザインプロダクトの代表取締役を兼任）。

注2. 当社の100%連結子会社。

●東南アジア市場進出に向けた海外事業会社の現地法人化（2017/12予定） （HARU GLOBAL BEAUTY PTE.LTD.を子会社化）

当社は、取締役会において、HARU GLOBAL BEAUTY PTE.LTD.（以下「HARUシンガポール」）をグループ会社化することを決議しました。

HARUシンガポールは、シンガポールにおいて美容商材卸販売業およびセミナー事業を展開するとともに、マレーシアにおいて美容商材卸販売業、セミナー事業およびサロン事業を展開する子会社HARU GLOBAL BEAUTY SDN.BHD.（以下「HARUマレーシア」）を有している企業です。

同社をグループ会社化することで、HARUシンガポールおよびHARUマレーシアの東南アジア市場におけるノウハウや人脈等をいち早く取得するとともに、二カ国同時に当社の販売拠点を保有することが出来、今後の東南アジア市場攻略を加速させてまいります。

会社名	HARU GLOBAL BEAUTY PTE.LTD. → BEAUTY GARAGE SINGAPOREに	HARU GLOBAL BEAUTY SDN.BHD. → BEAUTY GARAGE MALAYSIAに
事業内容	美容商材卸販売業、セミナー事業	美容商材卸販売業、セミナー事業、 ネイル・アイラッシュサロン経営（1店舗）
持株比率	当 社 80.60% 森 道春（注1） 10.45% 小村 陽子（注2） 8.66%	HARU GLOBAL BEAUTY PTE.LTD. 100% （→ BEAUTY GARAGE SINGAPORE）

注1. 当社の関係者（元業務委託先）。BEAUTY GARAGE SINGAPOREの代表取締役に就任予定。

注2. 元のHARUシンガポール100%株主。BEAUTY GARAGE SINGAPOREの取締役に就任予定。

●美容業界イベントへの出展 (2017/11実施)

- ◆NAIL EXPO 2017に出展
→PBジェルネイル「Ray gel」専用ブースにて出展、



●「歯科医院向け電動チェア」の販売開始 (2017/11開始)

- ◆ 歯科業界のカタログ通販企業大手のフィード株式会社と2016年3月29日に業務提携し、歯科医院向け商品を共同で企画・開発してきた
- ◆ 今回、当社の理美容チェア製造ノウハウを最大限活用することで、従来の高額な歯科用チェアと較べて圧倒的な低価格と安心の高品質を実現。配管不要で移動式のため、診療空間を自由に設計できる診療機器となっている

フィード 削らない歯科診療! 予防歯科用チェア&ユニット

大幅削減

置くだけカンタン

歯科用チェア 59万1台 (税別)

【別売りで、多数のオプションをご用意しております。】

オプション スツール	オプション LED	オプション LED	オプション LED
¥7,800	¥340,000	¥130,000	¥128,000